#### 1 JFM file format

JFM ファイルのフォーマットは、基本的には TFM ファイルのフォーマットに準拠しており、TFM を拡張した形になっている。ここでは、主にその拡張部分について説明を行い、その他の部分に関しては、T<sub>F</sub>X the program 等の TFM の説明を参照してもらいたい。

### 1.1 JFM ファイルの構成

JFM ファイル全体の構成は、Table1(4ページ) に示すとおりである。 ここで TFM と異なるのは次の点である。

- 1. char\_type のテーブルが付け加えられたこと。
- 2. ligature の換わりに glue のテーブルが設けられたこと。
- 3. 2 に関連して、lig\_kern から glue\_kern テーブルへ変更されたこと。
- 4. これらに伴い、先頭のファイル内の各部分を規定するパラメータ表が変更されている。 また、オリジナルの TFM との区別のために id を付加している。

#### 1.2 char\_type

今回の  $T_{EX}$  の日本語化においては、同一の文字幅、高さ前後に挿入されるグルー等、その文字が持つ属性全てが同じものを、1つの ' $char\_type$ ' として英字フォントの1キャラクタ と同様にして扱うようにしている。そこで、漢字の2バイトコードとこの  $char\_type$  との対応付けをこのテーブルを使って行う。

このテーブルの各エントリーは 1 ワードで構成され、上位半ワードに漢字コード、下位半ワードに  $char\_type$  を持ち、テーブル内にはコードの値の順番に収められていなければならない。またこのテーブルの先頭には、デフォルトのインデックスとして漢字コード及び  $char\_type$  の項が 0 のものが、必ず 1 つ存在しなければならず、このテーブルに登録されていない文字は、 $char\_type=0$  として扱う。つまり、このデフォルト以外の文字幅、カーン等の属性を持つキャラクタのコードとタイプが 2 番目以降のエントリーとして存在しなければならない。

#### 1.3 char\_info

*char\_type* をインデックスとしてこのテーブルを参照することにより、各 *char\_type* の属性を検索する。各テーブルへのインデックス等の情報を次の順番でパッキングして 1 ワードに収めてある。

width\_index(8bits) width\_table へのインデックス

height\_index(4bits) height\_table へのインデックス

2 1. JFM file format

depth\_index(4bits) depth\_table へのインデックス

italic\_index(6bits) italic\_table へのインデックス

tag(2bits)

tag=0 remainderの項は無効であり使用しないことを示す。

tag=1 glue\_kern プログラムが glue\_kern[remainder] からに収められていることを示す。

tag=2、3 使用しない。

remainder(8bits)

## 1.4 glue\_kern

特定のキャラクタタイプの組み合せ時に挿入すべき glue 又は kern を簡単なプログラム言語によって指定する。各命令は、以下の 4 バイトで構成される。

第1バイト 128 以上の時、このワードでプログラム終了。

第2バイト

- 次の文字のキャラクタタイプが、このバイトで示すキャラクタタイプと同じ場合、 第3バイトの処理を実行し、プログラム終了。
- そうでなければ次のステップへ。

第3バイトこの値によってグルーを扱うかカーンを扱うかを規定する。

- 127 以下の場合 glue/remainder×3/ のグルーを挿入。
- 128 以上の場合 kern[remainder] のカーンを挿入。

第4バイト remainder

# 1.5 glue テーブル

3 ワードで 1 つのグルーを構成する。各値は、 $designsize \times 2^{-20}$  を単位として表す。

第1ワード width

第2ワード stretch

第3ワード shrink

# 1.6 param テーブル

 $param[1]\ italic\ slant_\circ$ 

param[2][3][4] 漢字フォント間に挿入するグルーのデフォルト値。

param[5][6][7] 漢字—英字フォント間に挿入するグルーのデフォルト値。

1. JFM file format

id	nt	
lf	lh	
bc	ec	
nw	nh	
nd	ni	
nl	nk	
ng	np	
header		id = JFM.ID number. (= 11) $nt = number$ of words in the character type table. $lf = length$ of the entire file, in words. $lh = length$ of the header data, in words. $bc = smallest$ character type in the font. $ec = largest$ character type in the font. $nw = number$ of words in the width table. $nh = number$ of words in the height table. $nd = number$ of words in the depth table. $ni = number$ of words in the glue/kern table. $nl = number$ of words in the kern table. $nl = number$ of words in the glue table. $nl = number$ of words in the glue table. $nl = number$ of font parameter words.
char_type		
char_info		
width		
height		
depth		
italic		
glue_kern		
kern		
glue		
param		

表 1: JFM ファイルの構成